

# 子どもたちの学びを広げる 「GIGAスクール構想」



情報通信技術、いわゆる ICT (Information and Communication Technology) は、インターネットでの買い物、スマートフォンで家族や友人に写真やメッセージを送るなど、私たちの暮らしの中でも、身近なものになりました。

市内の小中学校では、4月から1人1台タブレット型パソコンを導入し、これまでの教育に最先端のICTを取り入れて、子どもたちの学習活動の充実を図っています。

## ◆ GIGA スクール構想

1人1台の端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、個々の資質や能力が一層育成できる教育のICT環境を実現すること。  
Global and Innovation Gateway for Allの略。

## ICT を活用した学習

### 調べ学習

インターネットなどを使い、さまざまな情報を収集・整理・分析することができます。

### 遠隔教育

大学・海外・専門家とつないだり、入院中の子どもと教室をつないで学習することができます。

### 表現・制作

さまざまなソフトを利用し、文章を作成したり、写真・音声・動画などを使った資料や作品を作ることができます。

### 情報モラル教育

実際に情報や情報技術を使う場面（収集・発信など）が増えることで、情報モラルを意識する機会を増やすことができます。

# タブレット型パソコンでの新しい学び

先生へのインタビューを  
動画で撮影

先生から送られた  
種の写真を観察

一人ひとりの考えを  
みんなで共有

成和西小  
1年



「校長先生はどんな仕事をしていますか？」



インタビューの前に撮影の練習

上野東小  
3年



黒板とモニターを使って授業をします



小さい種も拡大するとよく見えるね

緑ヶ丘中  
1年



先生からの課題が画面に表示されています



丁寧に手書き入力ができるかな

## ルールを守って楽しく学びます



伊賀市教育長  
谷口 修一

初めてタブレット型パソコンを授業で使う日、子どもたちの様子を見守っていると、各教室の保管庫から自分の席まで大切に抱えて運ぶ子どもたちの姿がありました。

今、小学生も中学生も、タブレット型パソコンを使って、先生からの課題にみんなで意見を出し合ったり、見つけたものやノートなどを写真に撮って発表したり、インターネットでの調べ学習に使ったり、とても楽しそうに活用しています。

変化の激しいこれからの時代を生き抜いていく子どもたちには、自ら課題を見つけ、考え、判断して行動していくことが求められています。学校で学んだことが、子どもたちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしいと思っています。

そのため、各学校では、タブレット型パソコンを学習ツールの一つとして効果的に活用することにより、子どもたちの興味・関心を引き出し、学びを広げたり深めたりして、学力の向上につながる教育活動を展開しています。授業では、これまでどおり、教科書やノート、資料集などを使用した上で、タブレット型パソコンを効果的に活用できる場面で使用しています。また、長時間使用などは健康面の心配もありますので、一定のルールを定めています。

学校だよりなどを通じて、保護者の皆さん、地域の皆さんに、各学校の教育活動をお知らせします。今後ともご支援とご協力をお願いします。

【問い合わせ】 学校教育課

☎ 22・9649 FAX 22・9697

✉ gakkou@city.iga.lg.jp